



勇

光の挑戦が
未来を変える。



生徒の主体性を育む アントレプレナーシップ教育

2026年3月20日（金）

茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校

校長 生井 秀一



下妻第一高等学校・附属中学校



INTERVIEW

ぼくが「花王」部長職から
公立校の校長を志したわけ

茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校

副校長 生井 秀一



「花王」部長職から校長先生に。子どもたちに、アントレプレナーシップ教育を。ビジネスの最前線で抱いた志

下妻第一高等学校・附属中学校 副校長 | 生井 秀一 さん

ア ン ビ
A M B I

ソーシャルイノバクト採用 PROJECT by 00

茨城県、校長公募。

教員免許不問。IT専科高校と中高一貫校で「校長」募集。



茨城県

×



エン・ジャパン

CHECK!

これからの学校マネジメント

	これまで	これから
目的	学校の経営存続のため	学校の経営存続のため 地域（社会）存続のため
校長・管理職	トップダウンで指示	道筋は管理職が、 具体化は次世代の人材が担う
実行者	教員の役職者・管理職中心	教員が中心になり、役職者・管理職を巻き込む
県教委と学校	県教委のトップダウン 学校裁量	県教委のグランドデザインや支援の下 連携して実行
進め方	前年踏襲型で リスク管理最優先	リスクベースのシナリオも策定し アジャイルに進行
組織マネジメント	既存の組織で、年功序列型	計画を達成する為に人事配置

非連続の時代にシフトした両利きの経営

探索
(新しい挑戦)

- 1 アントレプレナーシップ教育の推進 (社会に出て必要なスキル)
- 2 オープンイノベーション (開かれた学校作り)
- 3 DXの推進 (デジタル活用による価値創造)

**伝統校の
グレードアップ**



- ★文武不岐 (豊かな人間性)
- ★進路実現 (生徒の目標を実現させる)
- ★探究的な学びの推進 (非認知能力の向上)

深化
(今の活動深掘り)

■令和7年度 校内重点戦略

1、校内人的資源の戦略的活用による校務分掌の再編

探究活動の推進と広報活動の強化／DX部への名称変更による業務変革推進

(実態に合わせる)
担任以外は探究授業持ち時間×
(全職員)
探究授業持ち時間1時間増
学校全体としての意識付け

2、主幹教諭の設置による学校経営強化（チャレンジPJT・DX推進）

校長の学校経営戦略を実現する為に、校長及び教頭の補佐として新たな機能を設置

3、教員のミドルリーダー育成による、未来の下妻一高作り

若手人財の登用／学校行事再編PJT推進／単位制移行に伴う教科主任の役割強化

4、生徒の主体性や考える力を育て、生徒が活躍する学校作り

先生は伴走者／生徒のニーズを把握した学習・進路指導／学校は学び方を教える仕組みに変える

5、助け合いの精神で学校運営を行う（心理的安全性の確保）

校務分掌・部活動の複数担当制度／中高一貫の強みを活かした部活動運営

(前提)
責任を明確にして仕事をする
教員はメンタルが疲れる

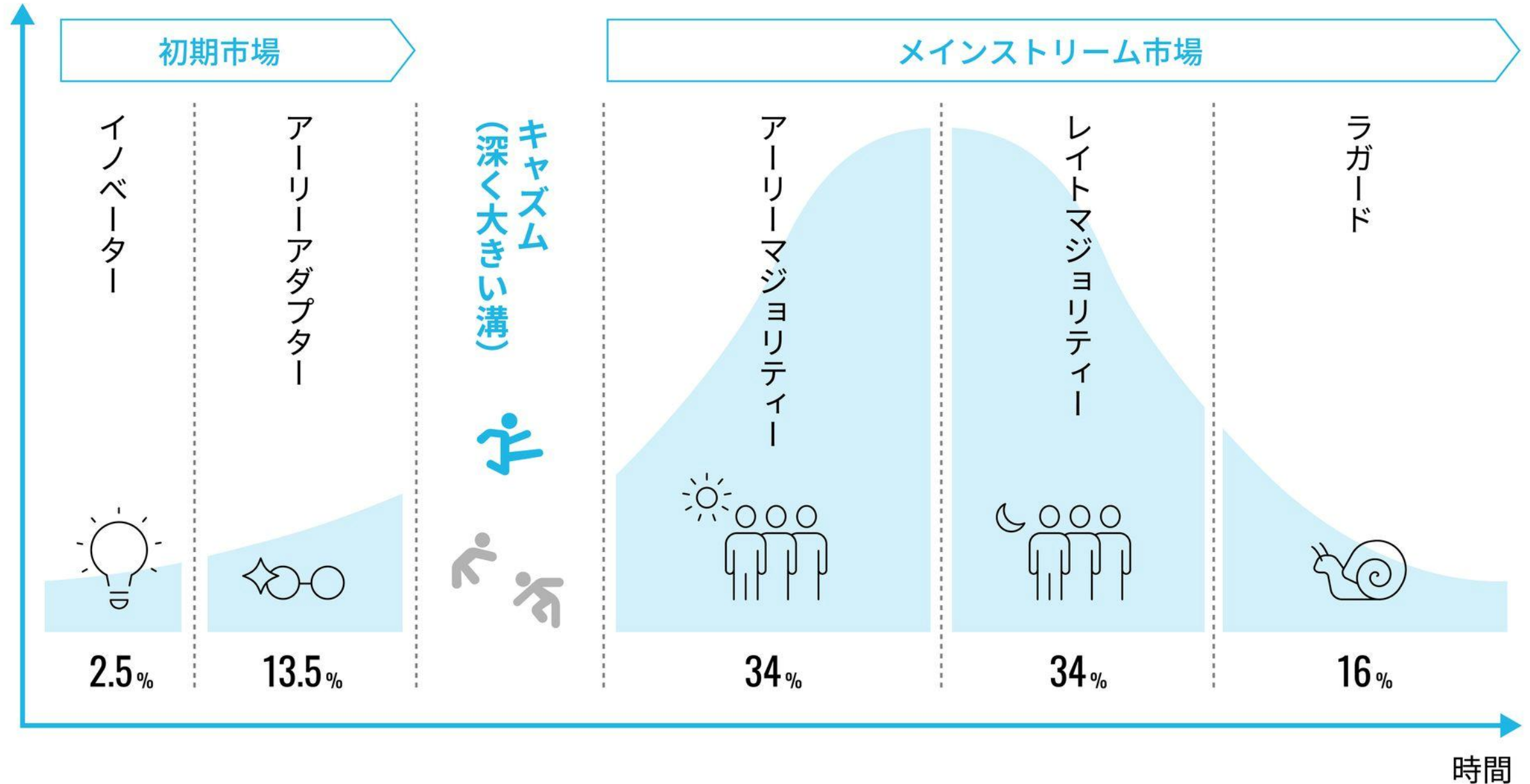
6、教職員の人材育成と働き方改革

年3回の教員面談と相互授業参観の実施。ICTの活用と超過勤務月45時間・年間360時間以内の徹底
部活動の活動ルールの徹底・定時退勤日の年間スケジュール化・教員研修・校舎の管理徹底



イノベーター理論

採用者数



目標

グローバルで活躍できる「アントレプレナーシップ精神」を持った生徒の育成
～答えのない時代を生き抜く力を身につける～

現状の下妻一高の成果に

繋げる + 加える

知識・技能
(Knowledge)

経験
(Experience)

グローバルで活躍する
「起業家的リーダーシッ
プを持った生徒の育成」

起業家精神を学び実践する事で、
人生をもっと自由に、もっと楽しく

進路実現
(チャレンジプロジェクト)

企業
(地域創生事業)

学校

探究活動
国際教育
文武不岐

共創



- ・ 社会&企業体験
- ・ 主体的な学び
- ・ 地域社会貢献
(県民の誇り)

- ・ 成果を発表する場
- ・ 伝える力育成

IBARAKIドリームパス (県事業)



IGP (国際交流)
・ オーストリア語学研修
・ フランス交流プログラム
・ 台湾交流



創造性

構築力

巻き込み力

人間力

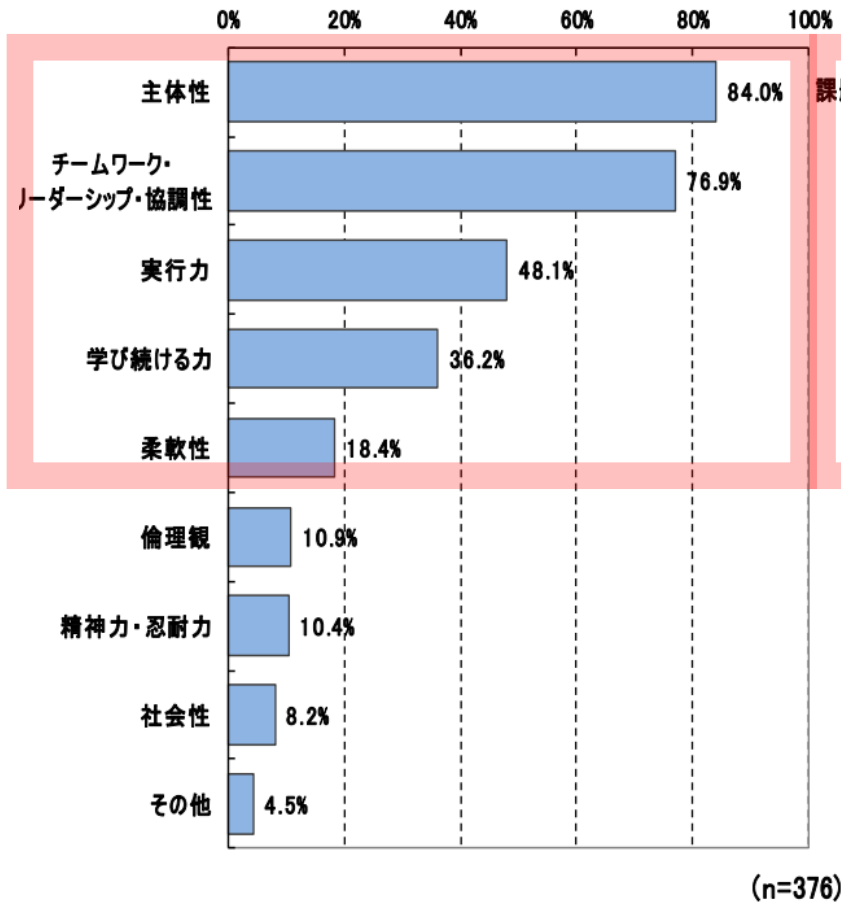
ハングリー精神

附属中学校

高等学校

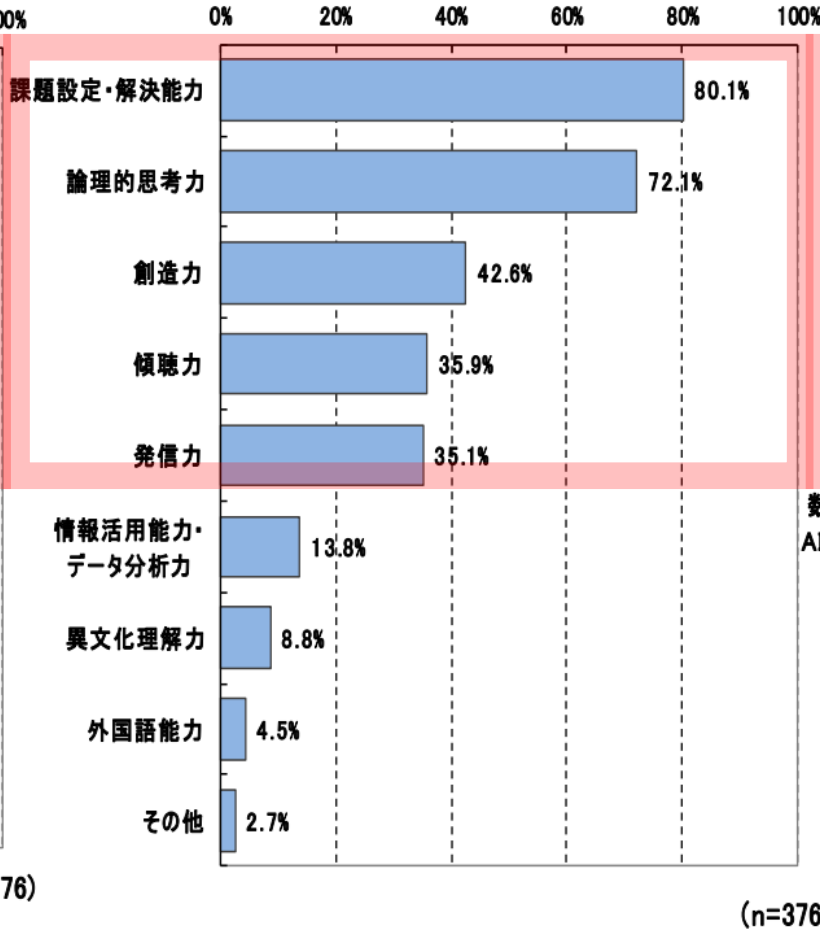
企業が求める人財

<特に期待する資質>

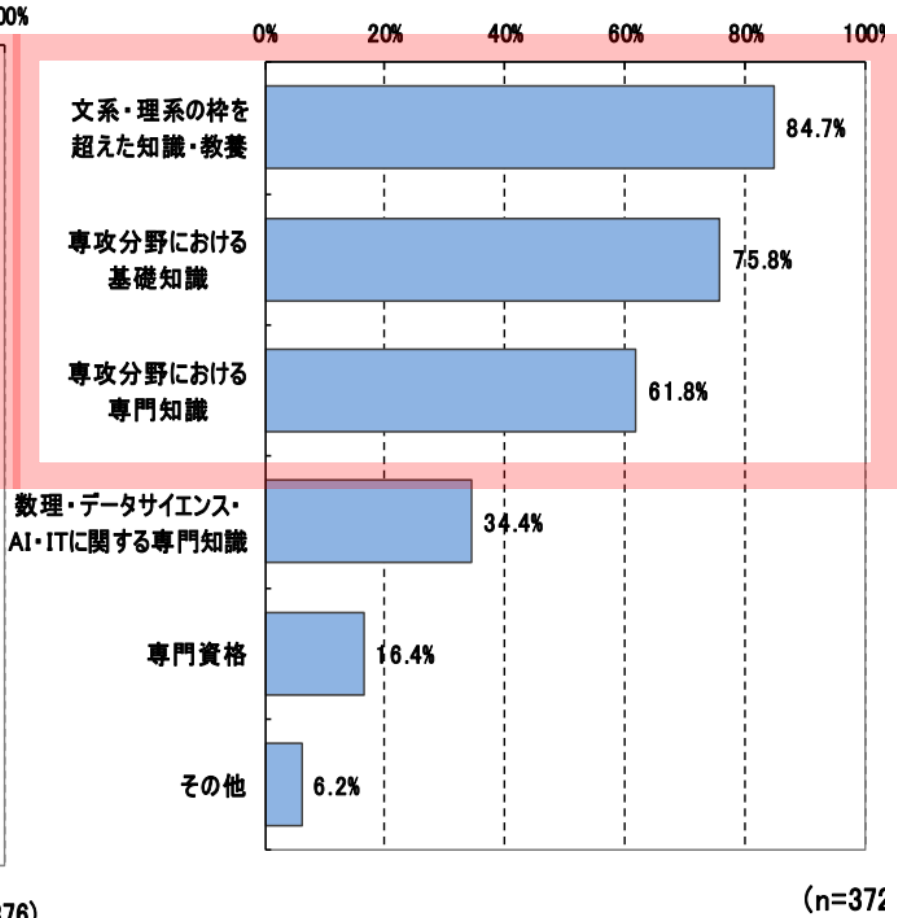


注: 資質・能力・知識についてそれぞれ3つまで選択可能

<特に期待する能力>



<特に期待する知識>



3つの領域のアントレプレナーシップ

0 → 1 の新規事業
を創る
(スタートアップ)

既存の事業を継続
(事業承継者)

既存組織の中で新し
い事を創出
(大企業・公務員)

グローバルで活躍できる 「アントレプレナーシップ」を 持った生徒の育成

答えのない時代を生き抜く力を身につける

本校は、1897年、明治30年4月に、茨城県立尋常中学校下妻分校として創立され、本年で128目を迎える、歴史と伝統を誇る学校です。この伝統は、歴代の先輩の方々からのたすきを受け継ぎ、しっかりと継承してきた証でもあります。

今、私たちをとりまく社会状況は、先行きが不透明で、物事の不確定性が高く、将来の予想が困難な状態に突入しました。予測困難なこの時代を生き抜く為には、情報収集能力、思考力、行動力のスキルは必須であり、さらにこれからは海外企業、グローバル人材と同じ土俵で仕事をしていかなければなりません。この先、皆さんがこのような時代を生き抜いていく為には、逆境に負けず、果敢に挑戦し、新たな価値を生み出す、起業家的リーダーシップ、アントレプレナーシップを持つことが大切です。これが「AI時代に必要な教養」を身に付ける事に繋がります。

よく誤解されるのですが、アントレプレナーシップは起業家をつくるということではありません。アントレプレナーの精神を養うということです。今の時代においては、全ての人に共通して必要なスキルです。逆境に負けずに立ち向かう力、豊かな教養、鋭い洞察力、そして人を巻き込める力、優れた人間性、物事の構想力など、起業家的な精神・思考を育てて頂きたいという事です。社会で活躍する為には、どのような立場であれ、このアントレプレナーシップが求められると考えています。大企業の社員、ベンチャー企業の創業者、ファミリービジネスの創業者、さらには公務員など組織の中で働く人にも求められています。私はそれを皆さんに伝え、これからの日本を背負う、次世代の人材育成に全力を注ぎたいと思います。今までの伝統を活かしつつ、新しい事を取り入れ、伝統校の更なる磨き上げが必要な時期だと感じています。それが、未来の「為桜学園」の発展に繋がると信じております。

「自ら考え、人とつながりながら、よりよい未来の創造に向かって挑戦していく力」を、文武不岐の精神のもと、本校での学校生活を通して身に付け、深めていってほしいと期待します。

- 0時間目
アントレプレナーシップ
とはなにか？
- 1時間目
情報収集能力と先を見る力
- 2時間目
課題設定能力と構想する力
- 3時間目
巻き込む力
- 4時間目
対話する力
- 5時間目
実行する力
- 6時間目
謙虚である力
- 7時間目
完遂する力



令和5年～7年 下妻一高取り組み活動

アドミッションポリシー
生徒の主体性を育むアントレプレナーシップ教育の推進

取り組み①（アップサイクル探究とファッションショー）

①大丸松坂屋が展開する「LOOP（ループ）」は主にファッションの循環（サステナビリティ）をテーマにしたプロジェクト。百貨店と連携し、「アップサイクル」再活用服に付加価値、魅力発信。



DAIMARU
Matsuzakaya



令和5年～7年 下妻一高取り組み活動

アドミッションポリシー 生徒の主体性を育むアントレプレナーシップ教育の推進

取組み②（IT企業とのパートナーシップ）

①IT企業との探究授業パートナーシップ

ビッグデータの分析による文理横断型の学びとオフィス見学



②Amazonの最先端物流センター視察

世界最先端技術を用いたAmazonキバロボットとプログラミングを学ぶ



取組み③（義務教育との連携）

①下妻市内義務教育学校との連携

高校で経験した事を小学生へ説明（下妻小・騰波ノ江小）







令和5年～7年 下妻一高取り組み活動

アドミッションポリシー
生徒の主体性を育むアントレプレナーシップ教育の推進

取組み④（地域探究ゼミで地元企業と商品開発と売上分析）

① 下妻市すずらんロードハウス様と共同で商品開発、楽天のウェブサイト構築しデータ分析を実施

販売ができない商品を再利用し、フードロスにも繋げる

Rakuten



授業時間内に事業者さまと共同で企画、制作しました。返礼品受付は従来通り市が行います。



自治体向けデータツール RakuDashがアップデートしました！



楽天グループ
約1億ID以上の
会員購買データを活用



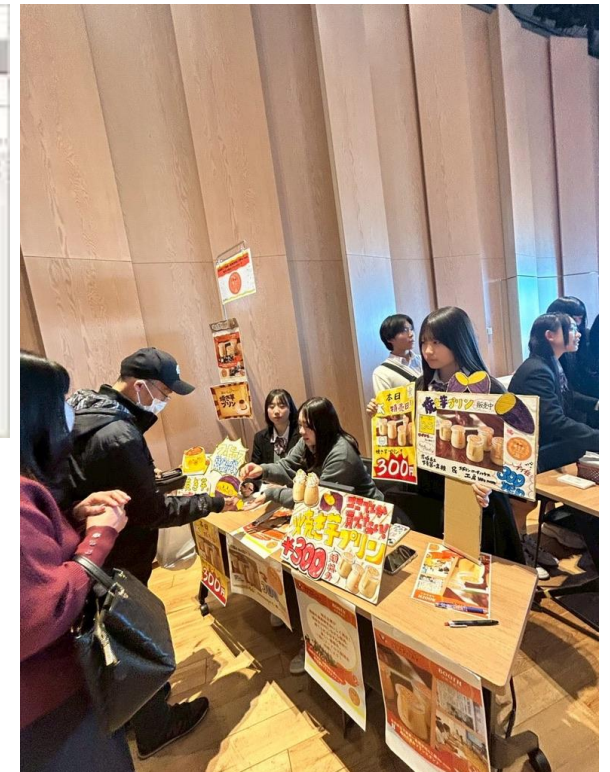
各自治体における
利用者の属性や、
属性別の消費行動を可視化



各自治体の
商業・ふるさと納税・観光の
外貨獲得の状況を一元管理^{※1}



商業・ふるさと納税・観光の
クロスユース^{※2}
最大化



令和5年～7年 下妻一高取り組み活動

アドミッションポリシー 生徒の主体性を育むアントレプレナーシップ教育の推進

取組み⑤（教員の主体性を育成）

①ミドルリーダー改革PJT発足

次世代のリーダー（主任クラス）が自ら学校行事の改革に成功
土曜補習廃止、課外授業の希望制、DX推進、定時退勤日等



学校行事見直し委員会（ミドルリーダーPJT）

【目的】

生徒・教員の満足度を上げる為に、学校行事の最適化を図ります。今後の下妻一を担うミドルリーダーが中心となり、プロジェクトを組んで進めていきます。

【プロジェクト】

①課外・補習授業・定期考査改革PJT

春夏課外や土曜補習のあるべき姿を検討し、定期考査なども含めた方向性を見出す。

リーダー：中泉先生 サブリーダー：田崎／村松先生 オブザーバー：小川先生

②定期戦・学校説明会・部活動体験PJT

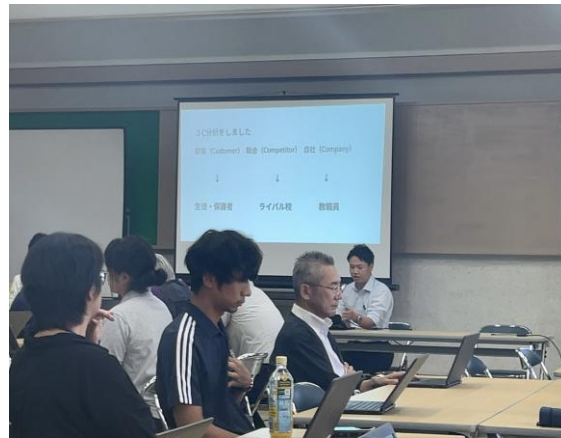
現状のやり方を踏まえて、参加者それぞれの満足度を最大化する方策を検討する。

リーダー：草間先生 サブリーダー：前川／轟見先生 オブザーバー：木村先生／村上先生

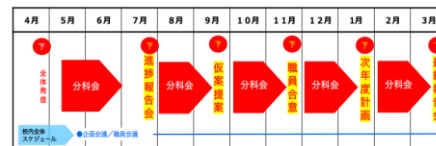
③野球応援・為郷祭・踏破会PJT

現状のやり方を踏まえて、参加者それぞれの満足度を最大化する方策を検討する。

リーダー：高橋先生 サブリーダー：大久保先生 オブザーバー：村上先生



令和7年度 スケジュール



- ・リーダー、サブ以外でプロジェクトに参画したいメンバーは積極的に参加下さい。
- ・企画会議と職員会議を活用して合意形成を図ってください。（校内ガバナンス）
- ・他教員や校務分掌との連携を深めるPJTとして活用して下さい。

取組み⑥

①教員向けブートキャンプ実施（県内外から150名参加）

人生100年時代を生き抜く為に自己啓発を！！

○主体性を育む教育とは（工藤勇一先生）

○ビジネスマナーは最高の自己投資（元ANA 栗原冬子さん）

○コーチングとファシリテーション（早稲田大学 谷益美先生）

○シリコンバレーの起業家マインドYES and（経産省イノバータープログラム）



- ・茨城県立高等学校／私立高等学校
- ・下妻市小中学校／行政職員／県外教員



- ・名刺交換の仕方
- ・メールの書き方／会食時の上座下座など

令和5年～7年 下妻一高取り組み活動

アドミッションポリシー
生徒の主体性を育むアントレプレナーシップ教育の推進

取り組み⑦（教員向けアントレプレナーシップ研修）

①学校経営の柱になるアントレプレナーシップを、教員みんなで理解する

教頭先生を中心に、ワークショップを実施
学校経営の柱であるアントレプレナーシップ教育の推進へ



下妻第一高校で評価されるべき探究学習

課題の設定



情報の収集



整理・分析



まとめ・表現

7つの能力

情報収集
能力と先
を見る力

課題設定
能力と構
想する力

巻き込む
力

対話する
力

実行する
力

謙虚で
ある力

完遂する
力

学校とは・・・
様々な経験を積んで
自信をつける場所

プレッシャーを乗り越えて
人間は強くなる

